

第101期 株主通信

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

Evolution for Customers

— 全進で未来へ"シンカ" —

株主の皆様には日頃より当社へのご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

さて、先日第101期（2022年4月1日～2023年3月31日）の決算の発表を行いましたので、株主の皆様には当社の状況、そして今後の取組み等を詳細にお伝えできればと思います。ご一読いただけますようお願い申し上げます。

株式会社ヒガシトゥエンティワン

取締役 代表執行役社長 児島 一裕



Q1 2023年3月期の業績についてどのように評価されていますか。

2023年3月期は、「中期経営計画2023」の最終年度、総仕上げとして全従業員が目標達成に向け一丸となって業務に取り組まれました。その結果、業容拡大を着実に進めるとともに、経費節減・業務効率の向上を目指した取組みについても成果を上げることができました。

売上高は348億円（前年同期比24.5%増）、経常利益は20.2億円（同21.3%増）と、ともに前年度を大きく上回り、過去最高を更新いたしました。

増収の要因としては、2021年10月より開始したインフラ会社様向け資材調達3PL事業の通年化による売上の増加、当期首より新たに連結開始した山神運輸工業株式会社の付加価値の高いエンジンアリング事業の増加、オフィスサービス事業の進展、2022年10月より新たに株式会社旅人を連結開始したことなどが挙げられます。

また経常利益についても、大型3PLセンター開設に伴う、備

品・什器・倉庫消耗品の購入等の投資費用や、成長事業への人材投資等が発生したものの、業容拡大にあわせて実施した経費削減への取組や業務効率化を推進した結果、大幅な増益となりました。

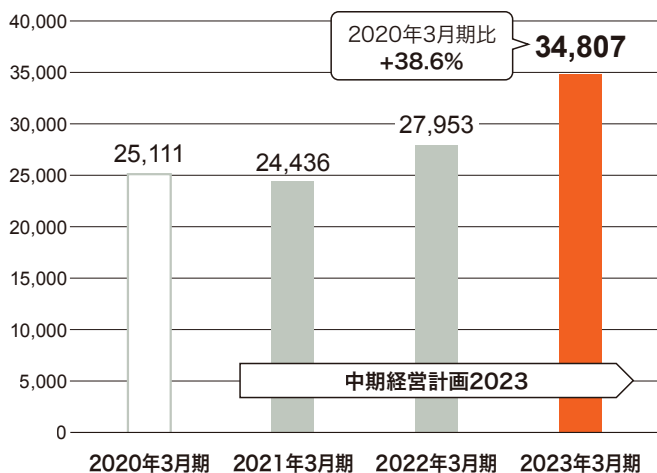
【中期経営計画2023（2021/03～2023/03期）の振り返り】

次に、中期経営計画2023の3年間の業績推移にも触れておきた

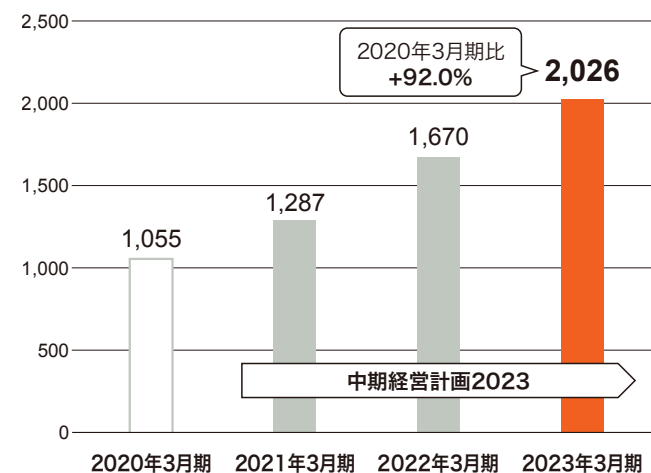
と思います。コロナ感染症拡大の初年度にあたる2021年3月期については減収増益・配当は維持となりましたが、この年を除けば着実に増収、増益、増配を果たしてまいりました。堅調な業績の推移に

伴い、2023年3月期は2度にわたり中期計画の売上高目標を上方修正し、最終の売上高目標を330億円としておりましたが、最終的にはそれを更に上回る売上高348億円で計画を達成いたしました。

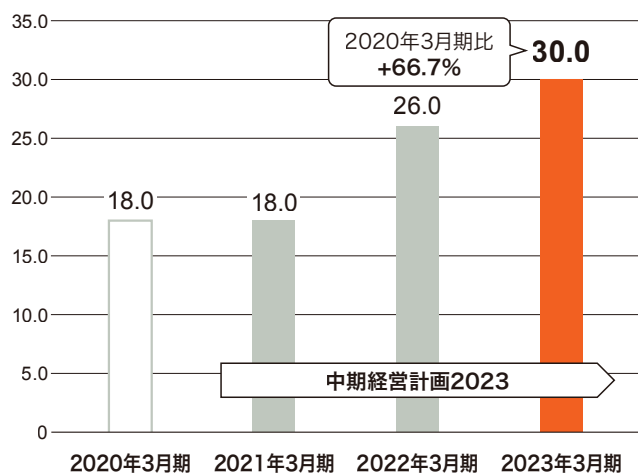
売上高（百万円）



経常利益（百万円）



1株当たり配当金（円）



また「中期経営計画2023」では人・倉庫・マテハン（ベルトコンベアや梱包機器など）・車両・システムを最適に組み合わせる物流設計力を基盤に、「オフィスサービス事業」「3PL事業」「ビルデリバリー事業」、そして成長速度を加速させるための「M&A」を重点事業として位置付けておりましたが、それぞれの達成状況について、お伝えします。

―「オフィスサービス事業」

認証・追跡システムを活用した万全のセキュリティを強みに、事務所移転・引越などを請け負う「オフィスサービス事業」では、関東圏での人員増強や業容拡大施策の進展等により、売上高は55億95百万円（前年同期比19.2%増）となり、中計目標50億円を超過達成しました。

―「3PL事業」

長年の輸送・庫内作業の実績・ノウハウと800社超の協力会社を持つ強みを武器に企業物流を一括して受託する「3PL事業」では、

EC・インフラ会社向け3PL事業の拡大に加え、精密機器メーカー向け3PL業務を開始したこと等により、売上高は78億31百万円（同56.3%増）となり、中計目標57億円を超過達成しました。

―「ビルデリバリー事業」

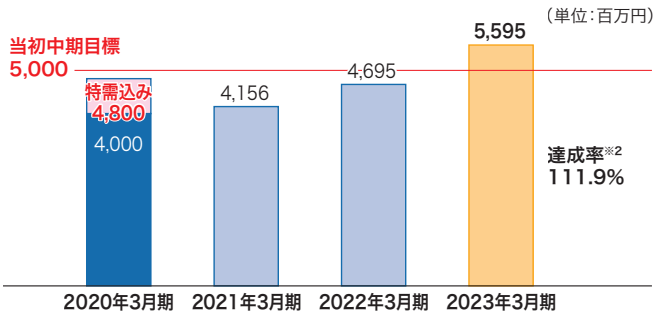
独自のエレベーター・荷捌駐車場管理システムなどを活用し、ビル内の配送を効率化する「ビルデリバリー事業」では、メール室事業を拡大したものの、コロナ禍の影響を受け、テナント企業のオフィス出社率低下に伴う取次物流量減少の影響により、売上高は17億67百万円（同9.8%増）となり、中計目標18億円にわずかに未達となりました。

―「M&A」

2022年2月には、重量物輸送・エンジニアリング事業に強みを持つ山神運輸工業、同年8月には、システムに関する技術サポート全般に強みを持つ旅人が新たにグループに加わり、事業成長に大きく貢献いたしました。

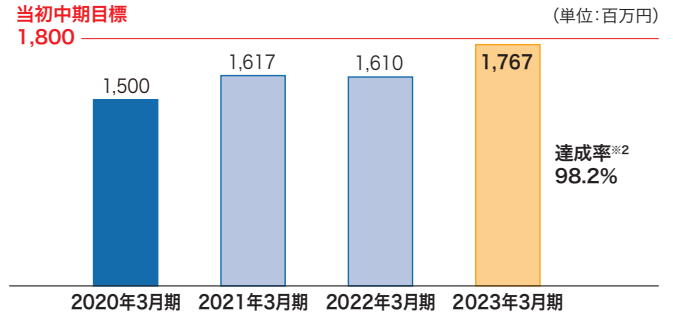
オフィスサービス事業

■ 関東圏での人員増強やワンストップサービス^{※1}の充実等の業容拡大施策の進展などにより、中期目標**超過達成**



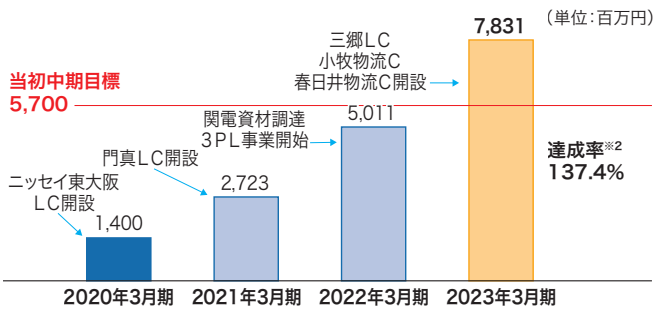
ビルデリバリー事業

■ メール室事業は業容拡大したが、コロナ禍の人流抑制による取次物量が減少していることにより、中期目標**若干未達**



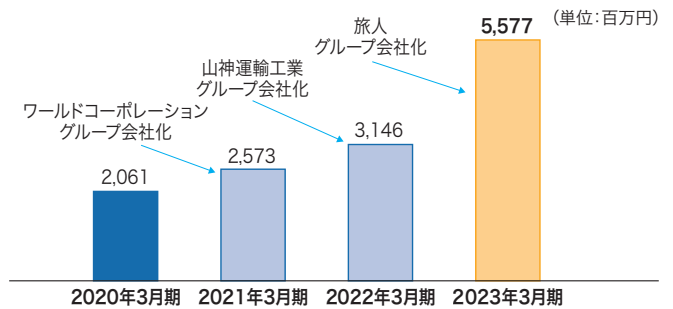
3PL事業

■ EC・インフラ会社向け3PL事業の拡大に加え、精密機器メーカー向け3PL業務を開始したこと等により、中期目標**超過達成**



M&A

■ グループの総合力を高めるべくM&A戦略を加速



※1 ワンストップサービスとは、内装、電気工事業務等の移転業務に伴う業務を一括で請け負うサービスのこと。

※2 達成率は当初中期目標に対する2023年3月期実績の割合で算定しております。

Q2 株主還元の方針について教えてください。

当社は株主の皆様への還元方針として、**長期的発展の礎となる財務体質の強化と安定配当の維持を基本としつつ、成長により獲得した利益を、連結配当性向30%以上を目安に還元する方針を掲げています。**

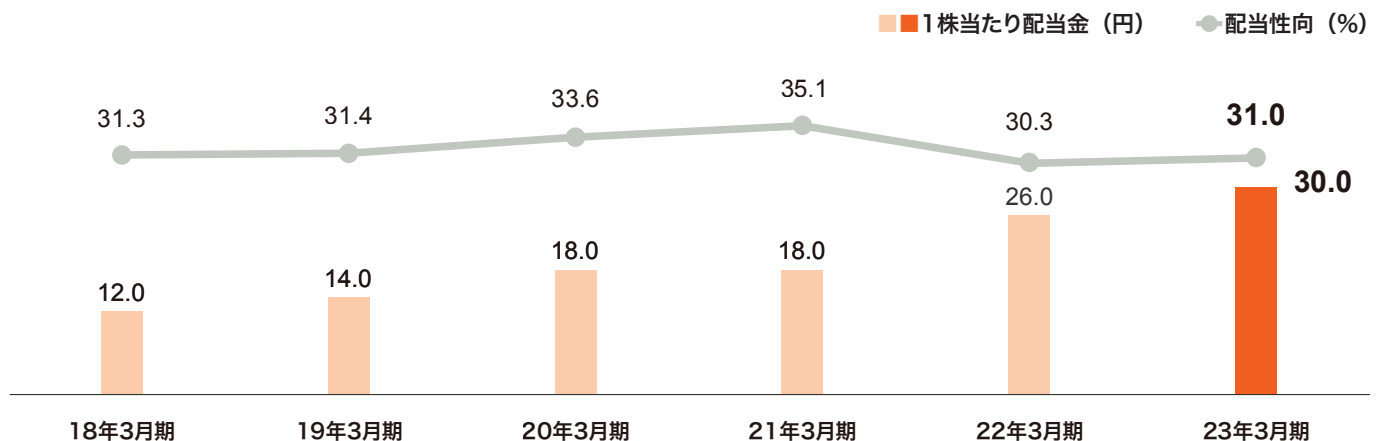
業績が堅調に推移したことにより、期末配当は前回予想の28円から更に2円積み増し、2023年3月期の最終的な1株当たり配当金は30円（配当性向31.0%）とさせていただきます。

当初、「中期経営計画2023」の最終目標としては、1株当たり20円の配当予想を掲げておりましたので、今回の30円という配当は大幅な増配となります。

こうした配当政策は、株価にも大きなインパクトを与えるものと考えています。「中期経営計画2023」初年度の2020年4月1日の

株価は470円でしたが、最終年度の2023年3月31日株価の終値は954円と、この3年間で当社株価は484円上昇し、2倍超の水準となりました。今後も株主の皆様には評価いただけるよう、業績を着実に伸ばし、株主還元を進めてまいります。

1株当たり配当金・配当性向の推移



Q3 「中期経営計画2026」における経営方針・戦略について教えてください。

2023年5月12日に「中期経営計画2026（2024/03月期～2026/03月期）」を発表いたしました。「グループVISION 2030」達成に向けて、前中計での成果を踏まえ『成長の礎を糧に飛躍する3年』をテーマに、「事業成長」と「サステナビリティ経営」を軸として、更なる事業成長に取り組んでまいります。

2023年度からスタートした「中期経営計画2026」は、前中期計画を遂行する中で磨かれた物流設計能力・人材等を成長の礎とし、更に飛躍する3年間として各取組を進めていく計画です。

また、今次中期経営計画では事業成長とともに、サステナビリティ経営の推進を中核的な戦略と位置付けております。企業の持続的な成長や価値創造のためには、社会との共創が不可欠となっております。企業価値を高めるべく、サステナビリティに関する諸施策についても注力してまいります。

今次中計における財務面での数量目標は下表の通りです。長期ビジョン発表時に設定していた375億円から大幅に上方修正し「売上高420億円」を目標といたします。また前中計3年間の間に、売上成長と同時に既存事業の効率化や本社間接費を中心とした経費効率化を進め、筋肉質な経営体制の構築を進めることができましたので、経常利益目標は25億円といたします。なお、経常利益目標は、今次中計にて初めて設定・開示するものです。



(財務面における数量目標)

項目	2023年3月期 (実績)	中期経営計画2026 (2026年3月期)
売上高	348億円	420億円
経常利益	20億円	25億円
1株当たり配当金	30円00銭	36円00銭
ROE	12.2%	8%以上
配当性向	31.1%	30%以上
従業員数	1,394名	1,600名

Q4 2023年5月に公表されたグループパーパス制定の背景をお聞かせください。

事業をめぐる厳しい環境や事業領域拡大に伴い、従業員一人ひとりが当社グループの社会的存在価値を再認識し主体的に業務に取り組んでいく必要があると考え、グループパーパス「安心をずっと、驚きをもっと。人と技術とITで、新たな価値を創造し、豊かな明日へつなぎます。」を制定いたしました。

グループパーパスの文言が意味するものについて説明いたします。

「安心をずっと、驚きをもっと。」は“サステナブルな企業経営とサービス・品質の高さ”を、「人と技術とITで、新たな価値を創造し、」という部分は“顧客の課題を解決する高いサービス力の提供と新しい価値を創造していくという意欲”を表しています。そして「豊かな明日につなぎます。」には“当社グループと顧客をつなぐ、更には持続可能な企業活動や高品質のサービスで、豊かな未来へつないでいくという意志”が込められています。

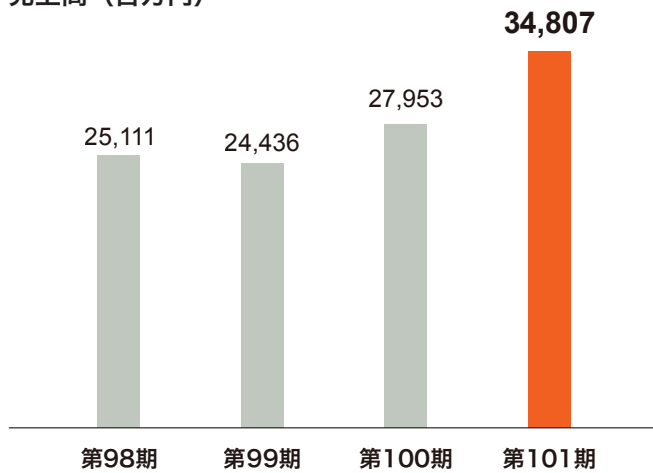
ヒガシトウエンティワングループでは、グループパーパスを共通の価値観として、全従業員が一丸となって、事業活動に取り組んでまいります。

Evolution for Customers

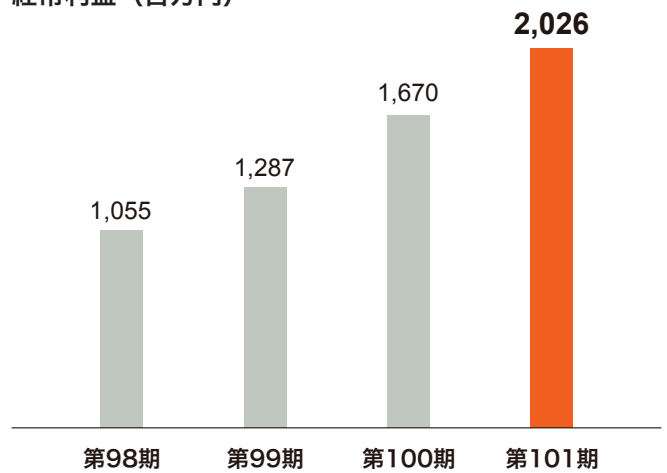
—— 全進で未来へ “シンカ” ——

■ 決算ハイライト

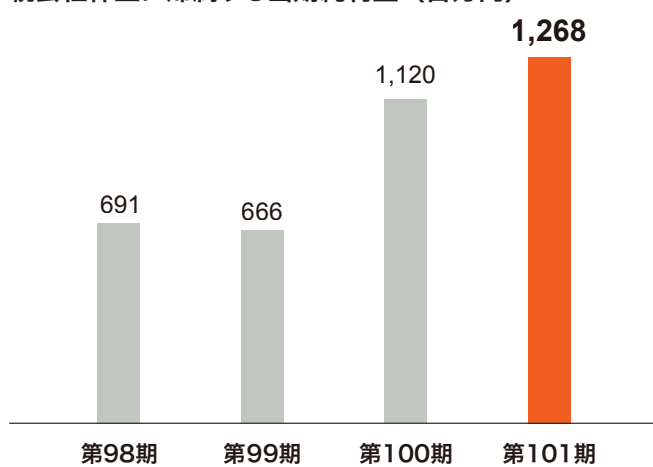
売上高（百万円）



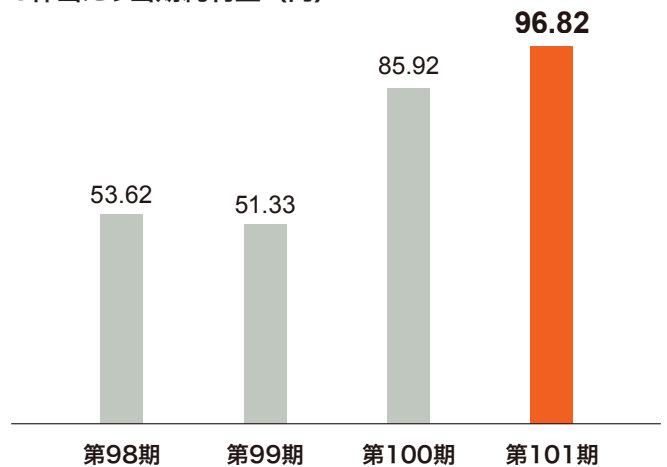
経常利益（百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）



1株当たり当期純利益（円）

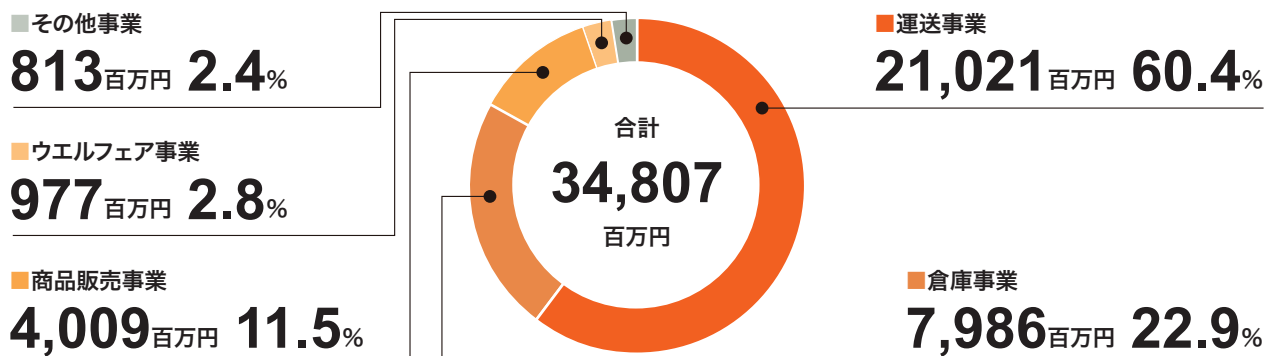


（注）記載金額は、百万円未満切り捨てて表示しております。

事業の概況



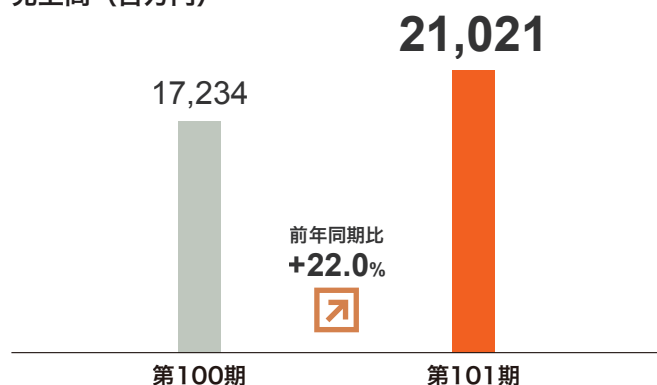
セグメント情報



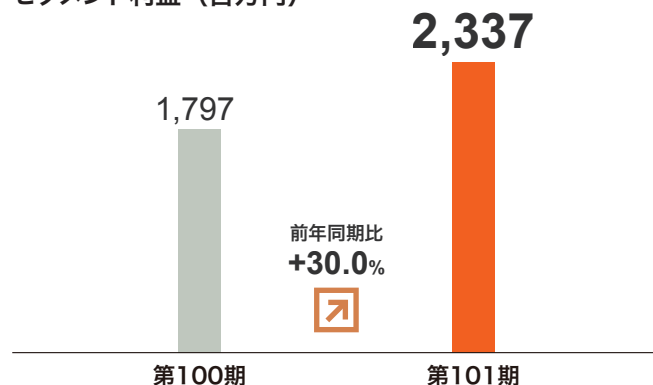
輸送事業

当事業につきましては、売上高は210億21百万円（前年同期比22.0%増）となり、セグメント利益は23億37百万円（同30.0%増）となりました。これは主に、山神運輸工業株式会社を新規連結、事務所移転作業が増加したことによるものです。

売上高 (百万円)



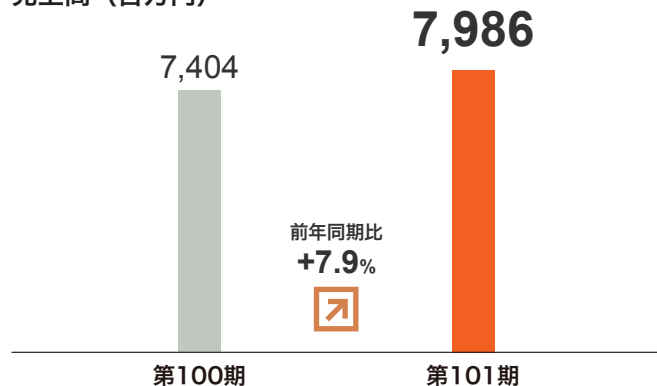
セグメント利益 (百万円)



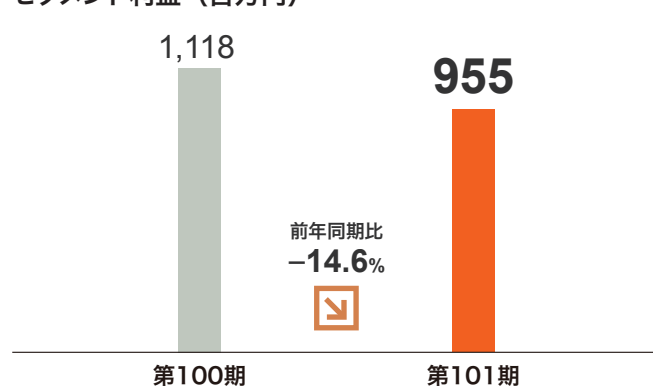
倉庫事業

当事業につきましては、売上高は79億86百万円（前年同期比7.9%増）となり、セグメント利益は9億55百万円（同14.6%減）となりました。これは主に、三郷ロジスティクスセンターを2022年4月より開設したことにより売上が増加したものの、来期に向けた新規倉庫の開設や移設による費用の増加により、減益となりました。

売上高 (百万円)



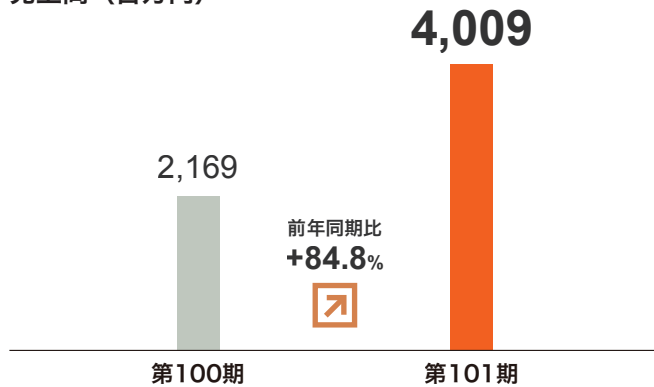
セグメント利益 (百万円)



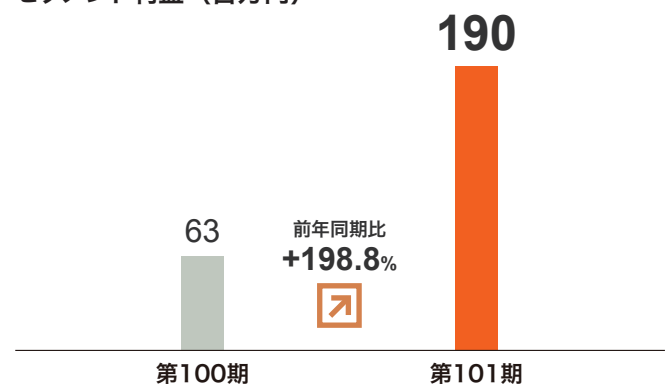
商品販売事業

当事業につきましては、売上高は40億9百万円（前年同期比84.8%増）となり、セグメント利益は1億90百万円（同198.8%増）となりました。これは主に、2021年10月より資材販売業務を開始したことによるものです。

売上高（百万円）



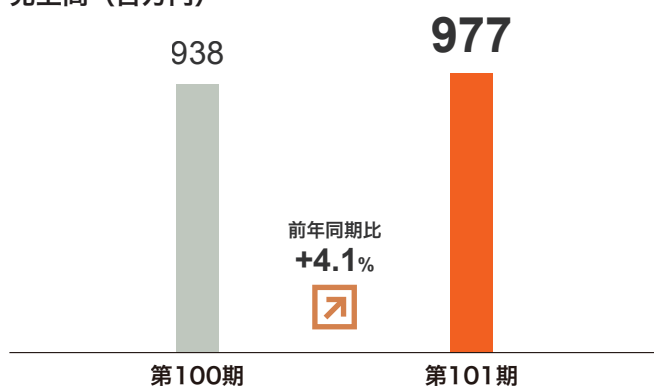
セグメント利益（百万円）



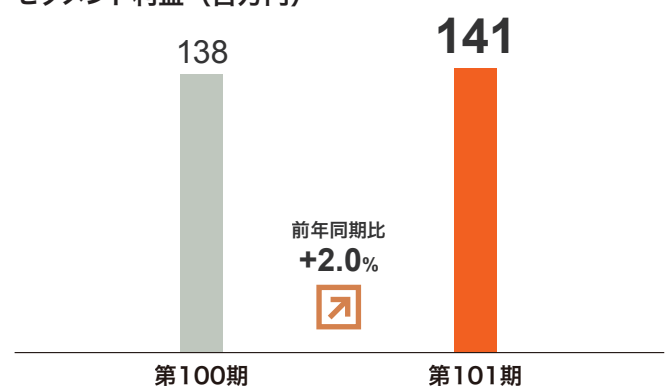
ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高は9億77百万円（前年同期比4.1%増）となり、セグメント利益は1億41百万円（同2.0%増）となりました。これは主に、福祉用具の貸出しにより売上が増加したことによるものです。

売上高（百万円）



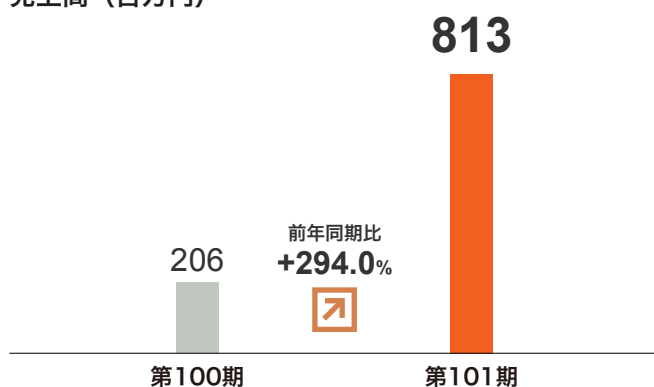
セグメント利益（百万円）



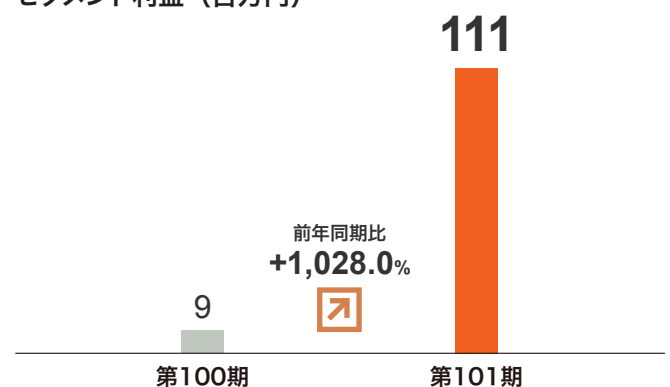
その他事業

当事業につきましては、主なものは労働者派遣事業や駐車場事業となりますが、売上高は8億13百万円（前年同期比294.0%増）となり、セグメント利益は1億11百万円（同1,028.0%増）となりました。これは主に、2022年10月より株式会社旅人を新規連結、インフラ会社向けの物流コンサルティング業務を受託したことによるものです。

売上高（百万円）



セグメント利益（百万円）





TOPICS 1 ▶ 「中期経営計画2026」を公表しました

ヒガシ21エンティワングループは2023年5月12日に、新3か年経営計画「中期経営計画2026（2024年3月期～2026年3月期）」を公表しました。

「中期経営計画2026」は、「グループVISION2030」達成に向けて、前中計を遂行する中で獲得した物流設計能力や人材などを成長の礎とし、更に飛躍する3年間と位置付けています。事業成長とサステナビリティ経営を柱として、売上高420億円をはじめとする数量計画の完遂とESG取組の強化に取組んでいく方針です。

Evolution for Customers
企業で未来へ「つながる」

中期経営計画2026

(2024年3月期～2026年3月期)

VISION2030で目指す姿
お客様に最高のサービスをお届けするために変革し続ける企業

中計テーマ 成長の礎を糧に飛躍する3年

1 売上・利益計画

売上高

2023年3月期 **348億円**

2026年3月期目標 **420億円**

+72億円増加

● 基幹事業 **179億円**
(+21億円増加)

● 介護サービス事業 **12億円**
(+2億円増加)

● ビルデリバリー事業 **21億円**
(+4億円増加)

全領域で事業成長

合計 **420億円**
(2026年3月期)

事業領域別数値目標
<売上高(1)内は2023年3月期からの増加額>

● オフィスサービス事業 (法人引継ぎ含む) **67億円**
(+8億円増加)

● 3PL事業 **107億円**
(+29億円増加)

● ITサービス事業 (IT人材派遣含む) **34億円**
(+10億円増加)

経常利益

2023年3月期 **20億円**

2026年3月期目標 **25億円**

+5億円増加

2 サステナビリティ取組

E 温室効果ガス抑制への取組

ヒガシ21グループ 社会貢献推進プロジェクト
HYBRID SDGs

S 人的資本価値向上取組
ひまわりプロジェクト推進
安全目標達成への取組

ひまわりプロジェクト

G ガバナンス強化の取組

取締役会・委員会実効性評価

サステナビリティ経営の強化
(パース制定・委員会設置)

グループパース <私たちの存在意義・価値を表現するもの>
 安心をずっと、驚きをもっと。人と技術とITで、新たな価値を創造し、豊かな明日へつなぎます。

TOPICS 2 ▶ EC向け3PL業務拡大に伴い、新たに3センター・4拠点を開設しました

EC向け3PL業務の拡大に伴い、2023年4月兵庫県西宮市に「鳴尾浜ロジスティクスセンター」、千葉県流山市に「流山ロジスティクスセンター、流山IIロジスティクスセンター」、大阪府茨木市に「北大阪ロジスティクスセンター」を開設しました。

当社では引続きグループ長期経営ビジョン「VISION2030」目標達成に向け、積極的な設備投資と更なる事業拡大を進めてまいります。

▶ 鳴尾浜ロジスティクスセンターの概要



建物名称	GLP鳴尾浜
所在地	兵庫県西宮市鳴尾浜1-20-2 →阪神高速5号湾岸線「鳴尾浜」ランプ至近 →阪神電車「武庫川団地前」駅 約2.5km
賃貸面積	約5,500坪（4階）
稼働開始	2023年4月

▶ 流山ロジスティクスセンター・流山IIロジスティクスセンターの概要



建物名称	DPL流山IV
所在地	千葉県流山市平方字上谷383 →常磐自動車道「流山IC」約2.5km →東武アーバンパークライン「江戸川台」駅 徒歩約20分 →東武バス「DPL流山東2」バス停 約850m
賃貸面積	約14,900坪（1階）
稼働開始	2023年4月

▶ 北大阪ロジスティクスセンターの概要



建物名称	大阪府食品流通センターE棟
所在地	大阪府茨木市宮島1-2-1 →北大阪トラックターミナルから約1km →近畿自動車道「摂津北IC」から1.4km
賃貸面積	約6,000坪 地上7階建（倉庫部分4階建のうち3・4階）
稼働開始	2023年4月

TOPICS 3 ▶ 「こころの劇場」(劇団四季) 大阪府公演に協賛します

ヒガシトゥエンティワングループでは、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いから『ひまわりプロジェクト』と名付けた様々な支援活動を行っております。

当社グループでは2023年度より新たに「こころの劇場」(劇団四季) 大阪府公演に協賛いたしました。「こころの劇場」(主催：一般財団法人舞台芸術センター/劇団四季、後援：文化庁)は全国の小学生を学校単位で劇団四季ファミリーミュージカル公演へ無料招待するプロジェクトです。本プロジェクトでは、子どもたちの豊かな心の育成を目指し、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など生きていく上で大切なことをテーマとした舞台作品を通じて、感動の輪を広げています。

引き続きヒガシトゥエンティワングループでは、社会貢献活動にも積極的に取り組んでまいります。

(ひまわりプロジェクト取組ラインアップ)

交通安全啓発



こどもミュージアムプロジェクト・フェスタへの参画
(2019年～)



交通安全絵画コンテストの開催
(2019年～)



園児向け交通安全教室の開催
(2019年～)

協賛・支援活動



ヒーローズカップ(全国小学生ラグビー大会)への協賛
(2017年～)



NPO法人ライツオン・チルドレンへのPC寄付
(2019年～)



「こころの劇場」(劇団四季)への協賛(2023年～)



ひまわりプロジェクト



会社概要 (2023年3月31日現在)

社名	株式会社ヒガシトゥエンティワン HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.
設立	1944年12月
本社	大阪市中央区内久宝寺町三丁目1番9号 〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代)
東京本社	東京都港区新橋一丁目18番16号日本生命新橋ビル9階 〒105-0004 TEL03 (6455) 7021
資本金	10億円
主なグループ事業内容	サードパーティ・ロジスティクス (3PL) 事業、輸送事業、倉庫保管事業、ドキュメントサービス事業、物流加工事業、事務所移転引越事業、IT関連事業、ビル内デリバリー事業、介護福祉関連事業、駐車場運営事業、オフィス関連サービス事業、機密文書リサイクル事業、産業廃棄物管理事業、人材派遣事業
従業員数	連結従業員数1,394名 (単体従業員数590名)
グループ会社	ユートランスシステム株式会社 株式会社イシカワコーポレーション 株式会社FMサポート21 株式会社トランスポート21 株式会社ワールドコーポレーション ヒガシオフィスサービス株式会社 山神運輸工業株式会社 株式会社旅人

役員 (2023年6月16日現在)

取締役				執行役			
取締役	児島 一裕	社外取締役	江上 雅彦	社外取締役	勝田 達規	代表執行役社長	児島 一裕 [※]
取締役	山田 寛	社外取締役	樋口 真人	社外取締役	亀井 正明	常務執行役	山田 寛 [※]
取締役	田口 宗勝	社外取締役	大西 由紀			常務執行役	田口 宗勝 [※]
取締役	原田 昌也	社外取締役	脇 陽子			常務執行役	原田 昌也 [※]
						上席執行役	外園 千尋
						上席執行役	角野 公史

※は取締役を兼務しております。

執行役員 (2023年6月16日現在)

執行役員	吉原 永詞	執行役員	井上 和大	執行役員	日吉 晋介
執行役員	氏郷 敏章	執行役員	新井 慶景	執行役員	新村 誠司
執行役員	山川 圭洋	執行役員	窪田 一夫		

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	13,121,075株
	(自己株式142,925株を除く。)
株主数	4,575名

配当の状況

中間配当	行っておりません。
期末配当	1株30円

*現在、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施しているため、年1回の期末配当としております。

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	1,800	13.7
日本生命保険相互会社	1,040	7.9
星光ビル管理株式会社	938	7.2
株式会社毎日新聞社	700	5.3
ヒガシトゥエンティワン従業員持株会	621	4.7
東京センチュリー株式会社	540	4.1
株式会社西日本シティ銀行	520	4.0
株式会社三菱UFJ銀行	364	2.8
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	257	2.0
金森滋美	201	1.5

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、自己株式(142,925株)を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う。公告掲載URL https://www.e-higashi.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内

当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

<https://www.e-higashi.co.jp>

ヒガシ21

検索

公式SNSはじめました！



facebook



Instagram



ヒガシ21

ヒガシ21



当社は、2006年5月25日付で、プライバシーマーク付与に関する認定を受けました。



当社は、9営業所で安全性優良事業所として認定を受けております。Gマークは優良事業所のみ与えられる「安全」・「安心」・「信頼」の証です。

トゥエンティワン

株式会社ヒガシ21